

教 育 ト ピ ッ ク ス

走った・跳んだ・投げた 陸上競技大会 終わる

5月28日、県立柏の葉総合競技場で「第56回流山市小中学校陸上競技大会」が行われました。天候にも恵まれた今大会では、小学生の部で、共通男子ボールスロー、中学生の部で、共通男子200m、共通男子1500m、共通砲丸投げ、共通4×100mリレーと新記録が続出しました。

大会成績 <敬称略>

【小学校の部】

男子総合 1位:八木北小 2位:江戸川台小 3位:南流山小
 女子総合 1位:江戸川台小 2位:八木北小 3位:向小金小
 男女総合 1位:江戸川台小 2位:八木北小 3位:南流山小

【中学校の部】

男子総合 1位:北部中 2位:南流山中 3位:南部中
 女子総合 1位:八木中 2位:北部中 3位:東部中
 男女総合 1位:北部中 2位:八木中 3位:南流山中

最優秀選手

西深井小6年・唐川泰成(6年100m優勝・共通男子ボールスロー優勝)
 向小金小6年・時枝菜津子(共通女子走り幅跳び優勝・6年100m3位)
 南部中3年・梨本真輝(3年男子100m優勝・共通男子200m優勝)
 北部中2年・関麻美(共通女子200m優勝・2年女子100m優勝)



手を取り合って 日韓交流

6月13日(金)常盤松中学校において、21世紀の日韓関係を担う両国の中学生同士の交流を推進し、若い世代の相互関係を深め、将来の日韓間の国民的な友好協力関係を築くことを目的として、『日韓中学生交流集会』が行われました。

韓国側から、男子中学生16名、女子中学生34名の計50名の中学生が常盤松中学校を訪れ、様々な交流を行いました。

全校集会の交流行事では、昨年度韓国を訪問した、生徒会長の村上君の韓国語のあいさつから始まり、各学年工夫を凝らした歓迎の歌声や合奏などを披露しました。部活動を代表して、剣道部員が剣道着を着て、型や試合を行ったり、全校応援で、日韓の協調を誓い合ったりしました。

その後、50人の韓国の生徒は、各教室に分かれ、給食や授業を常盤松中学校の生徒と一緒に受けるなどの交流を深めました。若者同士、言葉は通じなくても心で通じる光景が各所で見られました。



ようこそ 先輩!

去る5月22日、西初石中学校の卒業生である、柏レイソルの大谷秀和選手が、学校を訪れサッカー用具を寄贈しました。

大谷選手は、今年2月24日に開催された「ちばぎんカップ」で受賞した賞金を、母校の子どもたちのために使おうと、今回のサッカー用具の寄贈となりました。

また、自らの経験談「夢を持ち、目標に向かう努力の大切さ」をお話いただき、生徒のこれからの生活に、大きなアドバイスをいただきました。



お気軽にご参加ください 特別支援教育推進研修会 講演及びシンポジウム

主催：流山市教育委員会

『講演』 「感覚統合への理解」 講師 春國 優子 先生
(日本リハビリテーション専門学校 作業療法学科 学生課長)

『シンポジウム』 「気になる子の支援について」

〈日 時〉 8月28日(木)午後2時(受付 午後1時30分～)

〈場 所〉 文化会館大ホール

〈対 象〉 幼保小中高校の教員、児童生徒の保護者等

〈参加方法〉 当日、直接会場においでください。

特別支援教育とは、学習や生活において困難を抱えている子どもたち一人一人の力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するために、適切な支援を行うものです。今回の講師の春國先生は、「感覚統合」の視点から、子どもたちの理解を進め、支援を実践され、著書にもその重要性を記されています。発達・学習障害を持つ子どもたちを、日常場面でどのように理解し、学校や家庭でどう接したらよいかについて、実践に即してお話いただきます。

また、シンポジウムにおいては、学級担任の先生、保護者等、様々な立場から、気になる子どもたちとの関わり等について、意見を交えていきます。

「感覚統合」…子どもの「学習」「行動」「情緒」「社会的発達」等を脳における感覚間の連携プレー(統合)

